

守山から世界に羽ばたく サイクルフィギュア 近藤菜月選手

自転車を使ってアクロバティックな技を繰り広げるサイクルフィギュア。そんな室内自転車競技の世界で活躍を続ける1人の選手がいます。「滋賀ブルーレイクエンジェル」に所属する、守山市出身の近藤菜月選手。3年連続のチャンピオンズカップ優勝など、これまでの経歴を振り返りながら、11月の世界選手権と12月の全日本選手権にかける意気込みを聞きました。



1／アクロバティックな技を披露してくれた近藤選手。サイクルフィギュアは転倒の危険も多く、怪我と隣合わせのスポーツです。練習中に打ち身やアザができることもしょっちゅうだとか
2／サイクルフィギュア専用の自転車は1台あたり約40万円。チームとして活動が続けていくためには、地元企業からの協賛が不可欠です

全日本室内選手権で優勝 世界選手権出場を果たす

自転車の片方の車輪を上げて走る、走っている自転車の上で立ち上がるなど、次々とアクロバティックな技を繰り出す選手たち。草津市にある小学校の体育館を借りて、草津を本拠とするサイクルフィギュアチーム「滋賀ブルーレイクエンジェル」が練習に励んでいます。

チームの発足は平成15（2003）年。草津市出身で元全日本チャンピオン現コーチの堀井和美さんによって設立されました。現在の選手数は高校生2人、中学生3人、小学生5人。チームを代表する選手の1人が、世界大会の出場経験もある近江高等学校3年生の近藤菜月選手です。近藤選手がサイクルフィギュアの存在を知ったのは小学3年生のとき。堀井コーチが見事に自転車を操

る姿を見たのがきっかけでした。翌年からチームに入門し、堀井コーチのもとで練習を重ねます。

小学5年生のときに、全日本室内選手権女子サイクルフィギュアシングルの初出場。その後は毎年出場し、守山南中学校1年生のときに初優勝を飾りました。翌年には堀井コーチが持つ日本最高記録を塗り替えて連続優勝を果たします。期待の若手選手として、徐々に注目を集め始めました。

高校進学後もその勢いは止まりません。全日本室内選手権は現在2連覇中。高校1年生のときに始まった第1回チャンピオンズカップ・サイクルフィギュア競技の女子シングル部門では、日本女子初の100点を超える高成績で優勝し、同年にマレーシアで開催された世界選手権に初出場を果たしました。

近藤選手は翌年も全日本室内選手権で優勝し、ドイツ開催の世界選手権に出場しています。

本場の選手に圧倒され 技の完成度向上を目指す

サイクルフィギュアは、ドイツをはじめとするヨーロッパが本場のスポーツ。近藤選手は世界選手権で世界のレベルの高さを肌で感じたといいます。本場ヨーロッパで活躍する選手と近藤選手との大きな違いは、技の完成度。サイクルフィギュアは音楽に合わせて、事前に申請した30種類の技を5分間でし終えなければなりません。技の難易度が高いほど高得点を得られますが、ミスやふらつきが減点につながります。体格がよく、筋力があるヨーロッパの選手は、演技中の上半身のブレが少なく、一つひとつの技が美しく見えます。

「各国の選手を見て、自分はまだ世界で戦える実力に達していないと痛感しました」と近藤選手。海外での経験が、現在のモチベーションにつながりました。週3回のチームの練習に加え、筋力トレーニングやバランスポールでの体幹トレーニングを実施。少しでも世界との差を縮めるため、体の基礎づくりに励んでいます。



3／サイクルフィギュアは体のバランスが命。体幹トレーニングが欠かせません
4／正しい姿勢を指導する堀井コーチ。近藤選手は、堀井コーチのおかげで今があると話します
5／左から、栗東高等学校3年生の中川凱公（よしまさ）選手、近藤菜月選手、堀井和美コーチ、速野小学校3年生高岡真心（まこ）選手。中川選手は近藤選手とともに11月の世界選手権出場が決定。高岡選手は、近藤選手を目標に、大会への初出場を目指します



「近藤さんの一番の長所は努力を惜しまないこと。一生懸命にコツコツと練習を続けてきた結果が今につながっています」と堀井コーチ。そうした真摯な姿勢を持ち続ける限り、今後も成長を続け、世界を舞台に戦う選手になっていくはずと、堀井コーチは期待を寄せています。

周囲の応援が支えに 世界で活躍し恩返しを

高校3年生になった近藤選手は大学進学を予定しています。入学試験を前にした重要な時期ですが、手を緩めることはありません。7月の第3回チャンピオンズカップで優勝。3連覇を果たし、11月にオーストリアで開催される世界選手権への



近藤菜月選手
良い成績を上げることで、サイクルフィギュアの魅力をたくさんの人に知ってもらいたいと、世界の舞台に挑戦しています



「滋賀ブルーレイクエンジェル」代表・コーチ
堀井和美さん
選手時代は世界選手権に13回出場するなど、日本におけるサイクルフィギュアの第一人者です

出場を決めました。「順位を上げるより、自分の演技に集中したい。昨年の自分に打ち勝って、自己最高記録を目指します」と近藤選手。12月には3連覇を懸けた全日本室内選手権も控えています。当面の目標は、技のバリエーションを増やすこと。サイクルフィギュアの世界では、一つの技を完成させるのに半年から一年以上かかるのも珍しくありません。着実に成長するために練習を続ける日々です。大会前になると、励ましの言葉を送ってくれる同級生や、応援メッ